

1日(日) ・7日(出) ・8日(日)	第35回ふっさ桜まつり
13日(金)	くるみるガイドツアー
28日(土)	第1回市民環境大学

「第35回ふっさ桜まつり写真コンクール」を実施中!  
4月27日(金)までに  
ご応募ください(当日消印有効)。



今号の主な記事

3面保健師嘱託員募集 4面市民の皆さんからのご意見(パブリックコメント)募集 5面 Welcome Baby ファイルキットを配布します  
6面平成30年度温泉施設利用割引券を配布しています 9面予防接種について 11面ファミリー・サポート・センターの窓口が移転します

## 平成30年度施政方針

施政方針とは、市政運営にあたり、市長が重要施策や予算について、第1回福生市議会定例会で表明するものです。  
【問合せ】企画調整課企画調整担当 ☎ 551・1528



福生市長  
加藤育男

※記事は要旨です。  
全文はホームページ  
に掲載します。

私が3期目の市政運営に携わることとなりましてから、早くも1年9か月となります。そして、私が市長に就任して、本年5月で丁度、10年が経とうとしています。

この10年という時の流れを考えますと、いつのときも、市民の皆様や議員各位から多大なるご指導そしてご協力を賜りましたことにより、一つ一つ、前に進むことができたものと思っています。

改めまして、市民の皆様、議員各位、関係各位に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、災害時対応施設である防災食育センターが5月末に完成し、9月から本格稼働しています。この施設の完成により、市の防災力は大きく高まり、また、平常時は給食施設として、小学校給食に加え、中学校完全給食も開始し、食物アレルギー対応給食、生野菜の提供も新たに始めることができました。

また、もくせい会館も地域活性化センターとして生まれ変わりました。地域の経済振興、地域振興に資するさまざまな活動に利用していただき、末永く親しんでもらえる施設となればと心から願うところです。

そして、定住化に資する子育て施策の客観的な評価として、日経 DUAL と日本経済新聞社が共同で行った「共働き子育てしやすい街2017」総合ランキングでは、調査項目も変わり、順位に大きな変動が生じる中、今年度は、全国3位となり、3年連続で高評価をいただくことができました。

学校教育においても、「英検福生モデル」の英検公費受験では、中学3年生の英検3級以上の所持率が、国や都の平均を大きく上回る成果を上げています。

また、青少年海外派遣事業の代替事業として「ふっさっ子グローバルヴィレッジ事業」も実施することができました。

### 行政課題について

#### ■公共施設の老朽化

福生市の公共施設は、昭和56年度以前に整備されたものが全体の約52%にのぼり、建築後30年以上経過している施設が多い状況にあります。

昨年3月に「福生市公共施設等総合管理計画」を策定し、複合化・集約化・長寿命化などを計画的に進めていくという基本的な方針を定めました。

来年度から企画財政部に「行政管理課」を設置し、施設ごとの個別施設計画をはじめ、組織を横断するような施設分類を越えた複合化・集約化なども検討し、計画的な市全体の公共施設のマネジメントを進めてまいります。

#### ■少子高齢化

我が国はこれから、ますます少子高齢化が進展し、特に、2025年には団塊の世代が75歳以上となる「2025年問題」といわれる「超高齢化社会」に対峙しなければなりません。高齢者の暮らしを支える体制の整備は、これからの重要な課題です。

まずは、介護保険事業計画に基づき、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する体制、いわゆる「地域包括ケアシステム」を深化・推進し、介護保険サービスの量的な整備と質の向上を図ることにより、進行する高齢化に対応していかなければならないと考えています。

#### ■福生駅周辺の整備

昨年11月、地元地権者等により「福生駅西口地区市街地再開発準備組合」が発足し、今後、福生駅西口地域は、地域の主体性のもと、再開発によるまちづくりが進められます。



▲現在の福生駅西口

来年度から都市建設部に参事職を設置するとともに、生活環境部に配置した主幹職を都市建設部に移管し、この動きを支援させていただきたいと考えています。

また、福生駅東口地域では、都市計画道路3・

4・7号富士見通り線整備事業があります。「富士見通りまちづくり協議会」のご意見等に耳を傾け、地区計画を定めることにより、道路整備に合わせて回遊性の高い魅力ある商業空間を創出し、にぎわいと活気のあるまちの実現に繋げていきたいと思っています。

#### ■東京オリンピック・パラリンピック

2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

私は、このオリンピック・パラリンピックという世界最大のスポーツの祭典を福生の子どもの心に感動体験として残したいと考えており、できれば、2020年のオリンピック・パラリンピックの際には、競技会場に児童、生徒を連れていきたいと考えています。

#### ■健全な財政運営

これらの行政課題の解決には、当然経費がかかります。今まで、歳入の確保、歳出の抑制に努め、後年度の負担を抑えるため、可能な限り地方債の借入額を抑えることにより、福生市は健全な財政運営を維持しています。しかしながら、特に扶助費につきましても、毎年増大し、この傾向は平成30年度以降も続くものと見込んでいます。

歳入においても地方交付税が減額となっているほか、地方消費税交付金については、地方消費税の配分額が過度に東京都に偏っているとの理由により、その配分のルールが見直され、福生市への配分は大幅な減額となってしまいます。

健全な財政運営を維持できるよう、これまで以上に食欲に歳入の確保、そして歳出の抑制にも取り組み、一般財源の負担を最小限に抑え、諸課題の解決に努めなければなりません。

### 重要施策について

#### ■ハード事業

はじめにハード事業ですが、平成29年度からの継続事業として新扶桑会館整備事業があります。平成31年度供用開始に向けて、平成30年度も引き続き、着実に整備工事を進めてまいります。

次に、福祉センター設備改良事業については設備全体の老朽化が著しいため、平成30年度、31年度の2か年をかけて、空調設備、電気設備、給排水設備等の改良工事を行う予定です。

そして、新規事業としては、福生第三小学校増築事業があります。さまざまな学校の施設需要に加え、この学区の学童クラブの育成環境を改善する必要もあり、それらの複合的な課題の解決のため、第1給食センターの跡地を活用し、施設の増築を行うものです。平成30年度に設計を行い、平成31年度に工事を行う予定です。



▲第三小学校の給食センター跡地

また、ソフト事業

#### ■ソフト事業

まず、継続事業として、市の最上位計画である総合計画の策定事務があります。第4期福生市総合計画は、平成32年3月で計画期間が終了しますので、そのあとの第5期となる総合計画の策定に向けて、作業を進めているところです。

次に、再開発支援事業ですが、これから、「組合施行」により、福生駅西口地区の再開発が進められます。福生市としましても、まちづくりの重点事項として、平成30年度もこの動きに対し、最大限の支援をまいります。

それから、新規事業としては、子育て世代包括支援センター事業があります。平成30年度から子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築し、「子育て環境の充実」を図ってまいります。

このほか、平成30年度から国民健康保険制度も変わります。財源の確保や医療費の適正化など、財政運営の健全化に向けた取組みを展開し、この新制度を円滑に推進してまいります。

また、介護保険事業では、在宅医療・介護連携推進事業の新規創設や認知症総合支援事業に関する体制の構築など、新たな事業展開を図り、高齢者福祉の充実にも努めてまいります。

2面に続きます⇒